

公表：2022年 3月 1日

事業所名 NPO法人 キッズコムソレイユ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、及び課題や改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・基準となるスペースは満たしています。 ・限られたスペースですが、安全に配慮しながらダイナミックな運動的活動も行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・専門職の加配を行い、十分な数の職員を配置しています。 ・実習生を受け入れている期間や、職員の研修を行っている期間は、大人の数が増える場合があります。コロナ禍の為、密にならないよう状況を見て人数を調整していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・設備の完全バリアフリー化は出来ていませんが、お子様がつまづきにくいよう配慮しています。 ・お子様の状況や指導内容に合わせて集中しやすい環境調整は行いますが、多くの刺激の中から選択的に注意を向けられるようになることも必要であると考えています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・日々の清掃に加え、今年度も感染症対策として、換気や毎時間ごとのアルコール消毒を徹底して行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・中間評価の話し合いや指導方針を決める策定会議等に多くの職員が参加しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・毎年、保護者様に評価表の記入をお願いし、保護者様からの評価や頂いたご意見を職員間で共有し、話し合いを行っています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・毎年、自己評価を行い、ホームページで公表しています。そして、1年間の振り返りと業務改善について話し合いを行っています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・新人研修では、発達の理論的な研修や、活動プログラム等に関する研修を行っています。 ・職員全体では、非常災害時の訓練・救命救急訓練・虐待防止研修・感染症対策等の研修を行いました。 ・来年度も色々な研修を行っていききたいと思います。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(個別支援計画)を作成しているか	○			・検査結果や保護者様から聞き取りをした情報を基に、個別支援計画を作成しています。

適切な支援の提供

⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(検査)を使用しているか	○			・KIDS(乳幼児発達スケール)やLCスケール(言語・コミュニケーション発達スケール)を必要に応じて行っております。今後は、検査についても掲示をし、さらに相談しやすいようにしていきたいと考えています。
⑫	児童発達支援計画(個別支援計画)には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・中間評価を行い、お子様の期間中の様子・行動を話し合い、また保護者様の要望も取り入れ、支援内容を設定しています。 ・当事業所では、「発達支援」の本人支援に力を入れて行っています。本人支援には、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域があり、この領域における支援内容の中からお子様に必要な内容に対して支援を行っています。
⑬	児童発達支援計画(個別支援計画)に沿った支援が行われているか	○			・個別支援計画の短期目標に合わせて、具体的な活動内容を設定しています。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・ミーティングの時間を確保し、担当職員で各グループにあったプログラムの立案を行っています。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・各グループに見合ったプログラムの立案をしています。その為、クラスによってはあえて固定化させている場合もあります。あえて固定化している一例としては、見直しをもてるようになり、自発的に取り組めるようになること・繰り返し行うことで達成度をあげていくこと等です。同じ活動を長期間続ける場合には、保護者様にねらいを説明して、ご理解を求めることを心がけていきたいと思ひます。 ・お子様の課題を考え、色々な変化を取り入れながら活動プログラムを考えるようにしています。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・集団活動を中心に行っていますが、お子様の状態に合わせて個別活動を組み合わせ、計画を作成しています。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・ミーティングの時間に、情報共有や活動内容・方向性等について話し合い、支援の向上に繋がるよう努めています。全体としては、十分に話し合う時間を確保しているのですが、ミーティングの時間帯によって、活動前の話し合いが短くなってしまうこともあり、工夫して取り組んでいきたいと思ひます。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・お子様の様子をよく観察し、職員間で情報を共有しています。また、次回に反映出来るよう振り返りを行い、支援に繋げています。 ・一方、ミーティングの時間帯によって、支援終了後の打ち合わせが十分にできないこともありますが、活動の記録を行い、情報共有出来るように努めています。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・その日のお子様の様子を指導書に記入し、職員間で共有しています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・6か月に1度モニタリングをし、個別支援計画の見直しを行っています。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・相談支援事業所を介している利用者様に関しては、電話にて担当者に対応し、情報共有を行いました。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・地域の保健センターにて行った発達検査の情報を保護者を通じて頂いています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	/	該当者なし。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	/	該当者なし。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・必要性を感じて頂いた場合、主に就園先の先生に来所して頂き、情報共有を行いました。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		・主に、保護者様を通じて情報をやり取りしています。就学相談の前に、LCスケールの検査を行いお子様の苦手な所や得意な所を保護者様と共有するようにしています。また、入学後には面談の際に小学校の様子等をお聞きするようになっています。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	・一定年齢以上のほとんどのお子様、保育所やこども園、幼稚園に通われているため、事業所としての交流機会は設けておりません。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	
保護者への説明責任	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・複数のスタッフで保護者対応していけるよう体制を整えていきます。日々の変化を共に理解し、喜び合える存在でありたいと思います。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・ご家庭での過ごし方やお子様への接し方などを具体的に伝えられるよう心がけています。
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・通所利用開始時に時間をとり、丁寧な説明を行うよう努めています。 ・運営規定は、多目的室に掲示しています。利用者負担については毎月の請求書に表示し、変更のある時は掲示にてお知らせしています。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画(個別支援計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画(個別支援計画)の同意を得ているか	○			・お子様の現状や保護者様との面談を踏まえ、個別支援計画を作成し、保護者様の同意を得て支援を行っています。
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・必要に応じて適宜面談を行っています。また、KIDS等保護者様からの聞き取りによる検査法を用いて、ご家庭での困りごと等お聞きし、対応方法を共に考える時間を作っています。 ・保護者様の思いやお悩みに気付くことができるよう、日々の対話を心がけていきたいと思ひます。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・1月16日に藤沢市民会館にて、保護者交流会を実施致しました。コロナ禍の為、懇親会は中止となりましたが、先輩保護者様を招いて学校生活や職業・子育て等についてお話して頂きました。参加された保護者様から「参加して良かった」という声を沢山頂き、今後もこのような機会を設けていけたらと思います。 ・同じグループ内で、保護者様同士が話しやすいような場面作りを心がけていきます。
	㉝					
	㉞					
	㉟					

等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・困りごとやご質問にいつでも対応できるように、待合室にご意見箱(みんなのこえ)を設置致しました。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・主に、教室内の掲示板にて予定や連絡をお伝えしています。わかりやすい発信方法を検討していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・個人情報となる資料等は、鍵付きのロッカーで保管しています。 ・個人名のある書類の破棄にはシュレッダーを使用しています。また、個人名のある書類の移動(事務所から指導室)にはキャリングバッグを使用しています。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・保護者様に関連のある情報については、口頭だけでなく文書にて掲示をしたり、お知らせをお渡ししたりしています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・近隣の大学からの実習生を受け入れ、地域に開かれた事業運営となるよう努めています。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・適宜マニュアルの見直しや、備品のチェックを行い、訓練を実施しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・時間の都合上、利用者様には、書面による説明のみ行っています。 ・職員は、地震を想定した実地訓練を行い、発生時の対応や避難所までのルート等を再確認しました。また、今年度は救命救急講習を受講し、心肺蘇生法やAEDの使い方等の訓練を行いました。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・契約時に個人情報記録表に該当があれば記入して頂いています。また、その情報を元に疾患等を把握し、活動を行っています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がされているか				食事の提供がありません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・毎月の会議で前月の事例について改善策を検討しています。また、それぞれの活動別に安全の配慮点をまとめて、職員間で共有しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・今年度は新人研修だけではなく、職員全体で虐待防止に関する研修を行い、理解を深めました。今後継続して行っていく予定です。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画(個別支援計画)に記載しているか	○			・個別支援計画には記載してありますが、今後は保護者様に対して十分に説明することを、より心がけていきたいと思っております。